

雨水出水浸水想定区域図 【想定最大規模降雨】

東近江市 雨水出水浸水想定区域図【想定最大規模降雨】

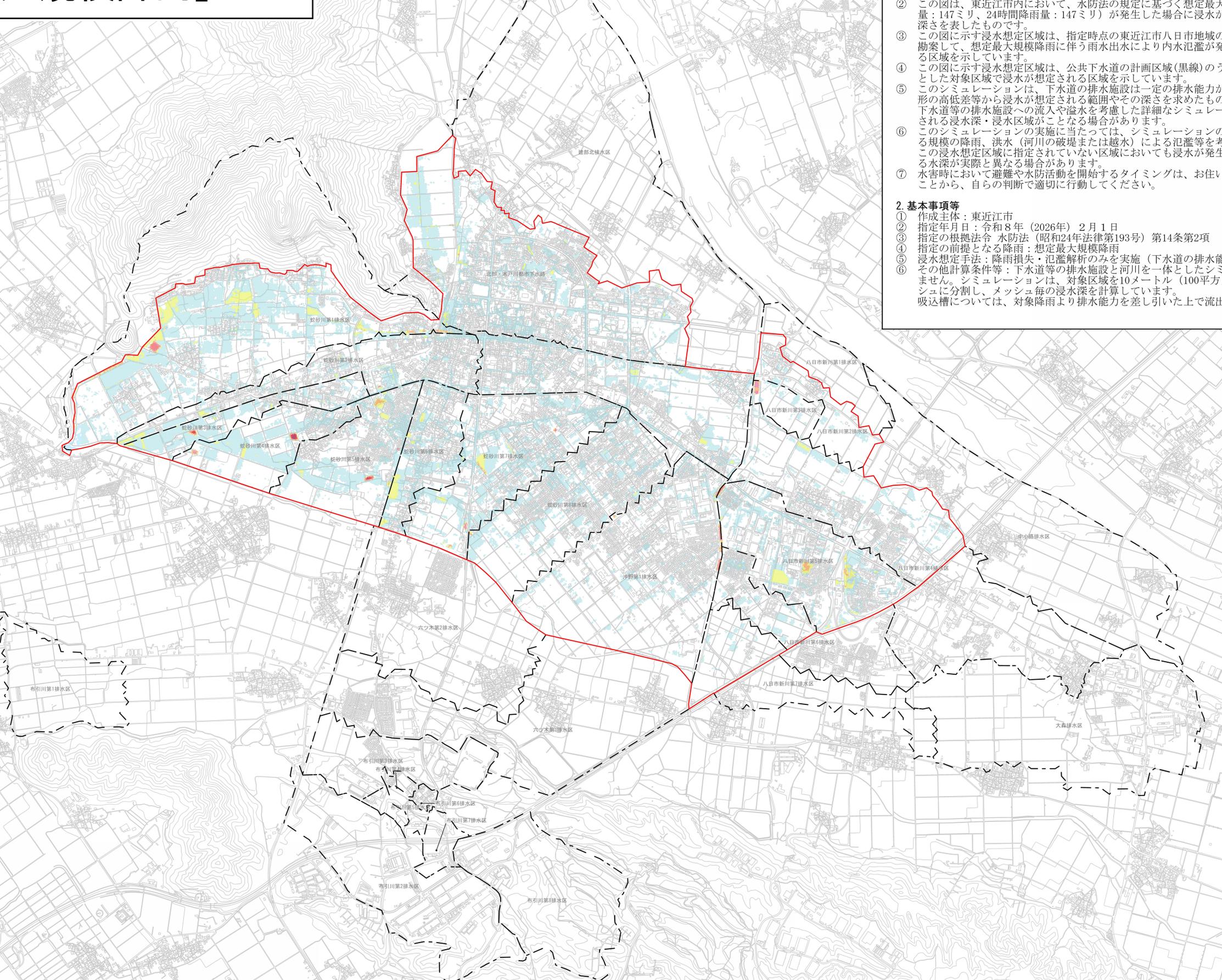


1. 説明文

- この図は平成24年8月11日に降った降雨の約2.5倍の雨が降った場合に浸水が想定される範囲やその深さを表したものです。この図で色がついていない場所は、計算上では浸水しない場所です。しかし、雨の降り方によってはこの図に示されていない場所でも浸水する可能性があり、浸水深も深くなる場合がありますので注意してください。
- この図は、東近江市内において、水防法の規定に基づく想定最大規模降雨（1時間降雨量：147ミリ、24時間降雨量：147ミリ）が発生した場合に浸水が想定される範囲やその深さを表したものです。
- この図に示す浸水想定区域は、指定時点の東近江市八日市地域の下水道の整備状況等を勘案して、想定最大規模降雨に伴う雨水出水により内水氾濫が発生した場合に想定される区域を示しています。
- この図に示す浸水想定区域は、公共下水道の計画区域（黒線）のうち、八日市地域を中心とした対象区域で浸水が想定される区域を示しています。
- このシミュレーションは、下水道の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低差等から浸水が想定される範囲やその深さを求めたものです。時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される浸水深・浸水区域がことなる場合があります。
- このシミュレーションの実施に当たっては、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、洪水（河川の破堤または越水）による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される浸水深が実際と異なる場合があります。
- 水害時において避難や水防活動を開始するタイミングは、お住いの状況等により異なることから、自らの判断で適切に行動してください。

2. 基本事項等

- 作成主体：東近江市
- 指定年月日：令和8年（2026年）2月1日
- 指定の根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第2項
- 指定の前提となる降雨：想定最大規模降雨
- 浸水想定手法：降雨損失・氾濫解析のみを実施（下水道の排水能力は一定で考慮）
- その他計算条件等：下水道等の排水施設と河川を一体としたシミュレーションではありません。シミュレーションは、対象区域を10メートル（100平方メートル程度）のメッシュに分割し、メッシュ毎の浸水深を計算しています。吸込槽については、対象降雨より排水能力を差し引いた上で流出解析を行っています。



凡例

- 調査対象区域
- 下水道計画区域
- 浸水深 (m)
- 5.0-10.0m未満
- 4.0-5.0m未満
- 3.0-4.0m未満
- 2.0-3.0m未満
- 1.0-2.0m未満
- 0.50-1.0m未満
- 0.50m未満
- 0.10m未満